

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 7 月 30 日

会 社 名 遠州トラック株式会社

（コード番号：9057 登録銘柄）

（URL <http://www.enshu-truck.co.jp/>）

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 澤 田 邦 彦 TEL:(0538) 42 1111
責任者役職・氏名 取締役管理本部長 寺 田 正 彦
兼 経 理 部 長

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 税金費用の計算等については、一部簡便的な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨て）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	3,652	(3.4)	229	(-)	210	(-)	171	(-)
16 年 3 月期第 1 四半期	3,532	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16 年 3 月期	14,498		984		953		534	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	23	11	-	-
16 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	71	57	-	-

（注）1.営業収益、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

2.当連結会計年度より四半期財務・業績の開示を行っておりますので、営業利益、経常利益、四半期純利益及び 1 株当たり四半期純利益については、前年同四半期実績及び増減率を記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期における我が国経済は、景気回復に向け好転しているとの見方もあるものの、荷動きが顕著に現れる物流業界においては、生産活動が海外にシフトされたこともあり、決して活発な動きとはいえない状況にあります。また、荷主主導のコストダウン要請で、体力消耗戦を展開してきた運送業界も、環境、安全等の社会規制により、車輛の更新及び原価の高騰で登録車輛台数も減少し、淘汰の時代に入っています。

こうした状況下、静岡県西部地区に本社を構える当社では、比較的好調荷主に支えられ、景気等の反動を受けることなく、安定した業績を維持しております。荷主の物流合理化も、製品販売物流のところでは限界に達している中、当社では、原材料の調達、購買受発注管理及び工場内の生産効率を物流情報システムと連動させ、トータル的に支援するサプライチェーンマネジメント（S・C・M）の物流活動を積極的に荷主に提案しております。また、あらゆる物流ニーズに応える体制づくりとして流通業務も加え、この四月から生活協同組合の物流センターを立ち上げ、スムーズにスタート致しました。この結果、営業収益は 36 億 52 百万円（前年同期比 3.4% 増）となりました。

利益面においては、連結子会社である株式会社藤友物流サービスは新規荷主の立ち上げ費用が高み赤字となりましたが、営業利益は 2 億 29 百万円、経常利益は 2 億 10 百万円、四半期純利益は 1 億 71 百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	21,183	8,726	41.2	1,176 93
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	21,442	8,582	40.0	1,156 09

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	53	356	513	606
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	1,197	1,515	325	712

(注) 当連結会計年度より四半期財務・業績の開示を行っておりますので、前年同四半期実績については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は6億6百万円となり、前連結会計年度末より1億5百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は53百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益が3億18百万円ありましたが、法人税等の支払額が2億44百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は3億56百万円となりました。これは有形固定資産の売却による収入が5億47百万円ありましたが、有形固定資産の取得81百万円や投資有価証券の取得81百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億13百万円となりました。これは短期借入金の純減少額1億円や長期借入金の返済3億64百万円があったことなどによるものです。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、四半期連結剰余金計算書、
(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

以上

[参 考]

1. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	7,661	458	259
通期	15,518	1,051	600

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 79円 51銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当社を取り巻く荷主に特別な変化もなく順調に業績は推移するものの、業界内の荷動きは引き続き軟調である事と、現状を悲観し廃業する業者も見られ、需給関係は予測が付きにくいという事、更に、天然ゴム、原油価格の高騰により、タイヤ費、燃料費の原価が上昇し、楽観を許さない環境にあります。予想の範囲に留めるべくエコドライブ運転等原価低減を強力推進しており、現時点においては平成16年5月14日付発表の業績予想値を変えておりません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2.平成17年3月期 個別第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1)経営成績(個別)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	3,361	(-)	235	(-)	221	(-)	181	(-)
16年3月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16年3月期	13,354		973		955		544	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	24	52	-	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	72	98	-	-

(注)1.営業収益、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

2.当連結会計年度より四半期財務・業績の開示を行っておりますので、前年同四半期実績及び増減率を記載しておりません。

(2)財政状態(個別)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	20,303	8,668	42.7	1,169 01
16年3月期第1四半期	-	-	-	- -
(参考)16年3月期	20,569	8,512	41.4	1,147 97

(注)当連結会計年度より四半期財務・業績の開示を行っておりますので、前年同四半期実績については記載しておりません。

(3)平成17年3月期の個別業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	7,062	449	259
通期	14,291	992	567

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 75円 14銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%
流 動 資 産				
現金及び預金	630		733	
受取手形及び営業未収金	2,204		2,195	
たな卸不動産等	661		663	
繰延税金資産	55		55	
その他流動資産	270		192	
貸倒引当金	4		2	
流 動 資 産 合 計	3,817	18.0	3,837	17.9
固 定 資 産				
1.有形固定資産				
建物及び構築物	5,102		5,599	
機械装置及び運搬具	503		464	
土地	9,545		9,547	
建設仮勘定	151		49	
その他有形固定資産	45		42	
有 形 固 定 資 産 合 計	15,347	72.5	15,703	73.2
2.無形固定資産				
連結調整勘定	6		7	
その他無形固定資産	358		353	
無 形 固 定 資 産 合 計	365	1.7	361	1.7
3.投資その他の資産				
投資有価証券	630		497	
従業員長期貸付金	14		15	
長期貸付金	237		248	
繰延税金資産	-		15	
その他投資	772		766	
貸倒引当金	2		2	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	1,652	7.8	1,540	7.2
固 定 資 産 合 計	17,365	82.0	17,605	82.1
資 産 合 計	21,183	100.0	21,442	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負 債 の 部)		%		%
流 動 負 債				
支払手形及び営業未払金	1,434		1,383	
短期借入金	4,574		4,712	
未払法人税等	155		249	
賞与引当金	29		80	
その他流動負債	541		336	
流動負債合計	6,734	31.8	6,762	31.6
固 定 負 債				
社 債	500		500	
長期借入金	4,977		5,303	
退職給付引当金	101		101	
繰延税金負債	4		-	
その他固定負債	112		165	
固定負債合計	5,696	26.9	6,070	28.3
負 債 合 計	12,431	58.7	12,832	59.9
(少 数 株 主 持 分)				
少数株主持分	25	0.1	28	0.1
(資 本 の 部)				
資 本 金	1,284	6.1	1,284	6.0
資 本 剰 余 金	1,079	5.1	1,079	5.0
利 益 剰 余 金	6,341	29.9	6,226	29.0
その他有価証券評価差額金	113	0.5	81	0.4
自 己 株 式	91	0.4	90	0.4
資 本 合 計	8,726	41.2	8,582	40.0
負債、少数株主持分及び資本合計	21,183	100.0	21,442	100.0

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
営 業 収 益	3,652	100.0	14,498	100.0
営 業 原 価	3,306	90.5	13,086	90.3
営 業 総 利 益	346	9.5	1,412	9.7
販売費及び一般管理費	116	3.2	427	2.9
営 業 利 益	229	6.3	984	6.8
営 業 外 収 益	6	0.2	82	0.6
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5		17	
受 取 保 険 配 当 金	-		55	
そ の 他	1		9	
営 業 外 費 用	26	0.7	114	0.8
支 払 利 息	19		87	
そ の 他	6		26	
経 常 利 益	210	5.8	953	6.6
特 別 利 益	108	2.9	70	0.5
特 別 損 失	0	0.0	14	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	318	8.7	1,009	7.0
税 金 費 用	150	4.1	481	3.3
少 数 株 主 損 失	3	0.1	6	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	171	4.7	534	3.7

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕	
	金 額		金 額	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		1,079		1,070
資本剰余金増加高				
自己株式処分差益	-	-	9	9
資本剰余金四半期末(期末)残高		1,079		1,079
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		6,226		5,797
利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	171	171	534	534
利益剰余金減少高				
1. 配 当 金	48		95	
2. 役 員 賞 与	9	57	9	104
利益剰余金四半期末(期末)残高		6,341		6,226

4.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	当第1四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年6月30日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	318	1,009
減価償却費	136	589
受取利息及び受取配当金	5	17
支払利息	19	87
投資有価証券売却益	-	68
売上債権の増減額(増加：)	8	105
たな卸資産の増減額(増加：)	1	54
その他の債権の増減額(増加：)	51	12
仕入債務の増減額(減少：)	50	180
未払消費税等の増減額(減少：)	35	19
その他の債務の増減額(減少：)	78	3
割引手形の増減額(減少：)	0	143
役員賞与の支払額	9	9
その他の	101	32
小計	307	1,810
利息及び配当金の受取額	6	17
利息の支払額	15	85
法人税等の支払額	244	545
営業活動によるキャッシュ・フロー	53	1,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	81	1,184
有形固定資産の売却による収入	547	24
無形固定資産の取得による支出	15	115
投資有価証券の取得による支出	81	134
投資有価証券の売却による収入	-	159
その他の投資による支出	13	133
その他の投資による収入	1	115
貸付による支出	5	282
貸付金の回収による収入	4	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	356	1,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(減少：)	100	350
長期借入による収入	-	2,063
長期借入金の返済による支出	364	2,030
自己株式の売却による収入	-	78
自己株式の取得による支出	0	39
配当金の支払額	48	95
財務活動によるキャッシュ・フロー	513	325
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	6
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	105	0
現金及び現金同等物の期首残高	712	711
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	606	712